



喜多方市

【教育目標】健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成



令和4年度
学校だより
第13号

豊かっ子

喜多方市立豊川小学校
令和4年10月6日（木）
発行責任者
校長 佐々木 豊

◎（心も体も）つよい子 ◎（自然と友達に）やさしい子 ◎（真剣に）まなぶ子

長い人類の歴史の中で、もっとも変化の激しい時代に生きている

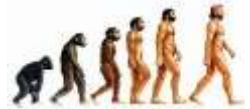
9月30日（金）の全校集会の校長講話で、「長い人類の歴史の中で、もっとも変化の激しい時代に生きている」という話をしました。



これは、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）で話題となった「変化の激しい時代」を子ども達にも話したいと思っていたこと、喜多方でも「A I オンデマンドバス※①」が10月3日（月）より運行されるようになったこと、学習発表会後のPTA教養講座が「自分の夢中になれること」を仕事にした方の講話※②になったこと（しかも10年前にはなかった新しいドローンの仕事）、これらがきっかけで、今回お話することになりました。次のような内容の話をしました。

今日は、みなさんが「長い人類の歴史の中で、もっとも変化の激しい時代に生きている」という話をします。ちょっと難しい話です。少し長くなります。

はじめに質問。人類の祖先、人間のご先祖様は何だったか知っていますか？ そうサルです。約700万年前に私達人間はサルから進化しました。その頃の道具、大昔の道具と言えば、ずうと石や棒でしたが、土器が発明されて、食事が大きく変わります。土器が発明されることにより、それまで食べられなかったものが土器で煮て食べられるようになります。「土器」が発明されたのが縄文時代で、今から1万3千年前です。



その後も紙や鉄、お金や火薬などが発明され、生活は少しずつ便利になりましたが、ずっと同じような生活をしていました。それは、機械や電気が発明されていなかったからです。ずっと人類は、人の力、牛や馬の力で仕事をしてきました。



それが、明治時代、約150年前から大きく変わり始めます。ついに科学の進歩で、機械や電気が発明されたからです。縄文時代からの人間の歴史1万3千年を1mで表すと、明治時代からの150年はわずか1.1cmです。わずかこの1.1cmの期間に、科学の進歩のおかげで、人類が経験したことのないスピードで生活が大きく変化します。今まで人の手で行っていた仕事を、機械が行ってくれるようになったからです。みなさんの家にはテレビも冷蔵庫も洗濯機も掃除機も自動車もありますよね。人の代わりに、何でも機械が行っ

てくれます。人は機械を使うだけです。

そして今、コンピュータとA I（人工知能）により、どんどん機械が自動化されています。人が機械を使わなくても、機械が勝手に自分で仕事をしてくれる時代が始まっているのです。みなさんが大人になる10年後、20年後は、今ある仕事の半分は自動化されると言われています。



とても便利でいい話ですよ。でも、それは困ったことでもあります。機械が自動でしてくれるので今までその仕事をしていた人間がいなくなる、つまりその仕事なくなるということです。工場の仕事の大部分はもう機械や産業用ロボットがしています。お店のレジの仕事も今なくなりつつあります。車の自動運転も開発中ですので、運転手の仕事もそのうちなくなるでしょう。今ある仕事の半分はなくなってしまうのです。つまり、みなさんのうち半分の方は、今はない新しい職業に就かなければならなくなるのです。みなさんは、コンピュータとA I（人工知能）のせいで、今まであった仕事がどんどんなくなり、新しい仕事がどんどん生まれるという、長い人類の歴史の中で、もっとも変化の激しい時代に生きているのです。

なんだかちょっと心配ですよ。でも、大丈夫。新しい仕事がどんどん生まれる時代というのは、「自分の夢中になれること」を、工夫さえすれば仕事にできる時代が来たのです。動画クリエイター、ロボットエンジニア、ドローンパイロット、ブロガー、ユーチューバー、プロゲーマー、ゲーム実況者など新しい仕事がどんどん生まれています。自分一人では難しいこともあるかもしれませんが。そんなときは、いろいろな人の力を借りればいいんです。いろいろな人と協力すればなんとかなります。コラボすればいいのです。



みなさんには、ぜひ、いろいろな人と協力しながら、自分の夢中になれることに取り組み、しあわせな人生を、自分で切り開いていってほしいと思います。

今日は、みなさんが「長い人類の歴史の中で、もっとも変化の激しい時代に生きている」というお話をしました。今まであった仕事がどんどんなくなり、新しい仕事がどんどん生まれるという時代です。みなさんも、いろいろなことに挑戦し、自分が夢中になれることをぜひ見つけてください。

※① A I オンデマンドバスとは、乗りたいときに行きたい場所まで行けるバス。お客さんはスマホ等で予約し、A I（人工知能）が、その予約から、最適な乗り合せの組合せを判断し、バスの走る道順を決めてくれる。喜多方市での名称は「のるーと 喜多方（みんなの号）」。

※② P T A 教養講座 10月22日（土）学習発表会終了後11時10分～12時10分（予定）

【講師】山本 健一 様（熊倉町在住、会津ドローン愛好会会長）他3名

【演題】「ドローンを活用し会津の未来に繋げよう」～好きな事を仕事にしたお爺さん～